

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	腹腔鏡手術後に卵巣境界悪性腫瘍の診断となった症例の後方視的検討		
1. 研究の目的と方法	卵巣境界悪性腫瘍(BOT：borderline ovarian tumors)に対する体への負担が少ない手術は、術前の良悪性の手術後の病理検査による診断の限界や、境界悪性腫瘍や、がんであった場合の破綻の可能性などを考慮した上で提案すべきとされています。腹腔鏡手術・ロボット支援下手術を施行して術後診断で卵巣境界悪性腫瘍であった症例について再発症例を中心に後方視的検討を行います。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2026 年 12 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2018 年 4 月 1 日～2024 年 12 月 31 日の期間に、東京慈恵会医科大学附属病院・葛飾医療センター・西部医療センター、附属柏病院において、良性卵巣腫瘍の術前診断のもと腹腔鏡手術・ロボット支援下手術を施行し、術後に BOT と診断された患者さん		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	年齢、腫瘍径、術前画像診断、術式、術中所見、病理診断、再発の有無および時期、再発後治療内容	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。 ・ 各附属病院（本院、葛飾、西部、柏）において、研究対象の抽出および必要情報の収集は、当該施設の研究協力者（または診療情報管理担当）と連携して行います。 ・ 対応表（個人情報と研究 ID の紐づけ表）は、原則として各施設で作成・厳重管理し、研究代表者が取り扱う情報は匿名化（研究 ID 化）後のデータを基本とします。 ・ 柏病院所属の研究代表者が 4 附属病院のカルテデータを直接閲覧・収集できる環境の有無については、施設の規程に従い、可能な範囲で「各施設での抽出→匿名化データの集約」の運用とし、手続き・権限・データ授受方法を含めて各施設管理課と調整の上で実施いたします。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3) の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座

	研究責任者 または研究 代表者	氏名	松浦美紀
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2026 年 3 月頃～		
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科講座 研究責任者：東京慈恵会医科大学 産婦人科講座 松浦美紀（まつうら みき） 窓口担当者：助教 松浦美紀（まつうら みき） 電話番号：04-7164-1111（内線 2928） 対応時間：平日 9：00 ～ 17：00		

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。